

## Ⅲ 活動記録

### 1 展覧会

- ・出品リストについては、他館所蔵家作品のみ詳細を掲載した。
- ・所蔵先、及び講師の所属は開催当時のもの。

#### 特別展

「江戸東京の女性美 ―清方の美人画を中心に―」

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令により開催せず。

予定会期

令和2年4月16日(木)～5月20日(水)

#### 特別展

「梶田半古生誕150年記念 花ひらく明治の女性美 ―清方と半古―」

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令により開催せず。

予定会期

令和2年5月23日(土)～6月28日(日)

## 企画展 「清方の芸術、美へのあこがれ」

緊急事態宣言解除の再開館に伴い収蔵品による企画展を実施した。

### 会期

令和2年6月9日(火)～6月28日(日)  
(開館日数:18日)

総入館者数 329人(一日平均:18人)

### 関連事業

なし

### 関連記事

「清方の芸術、美へのあこがれ」(毎日新聞6月13日)

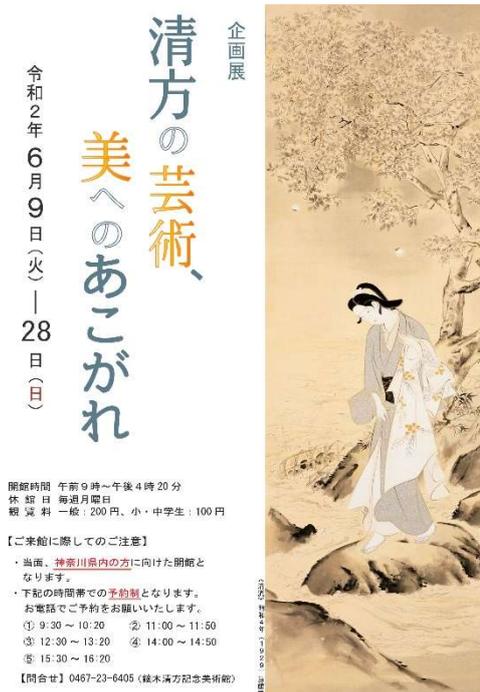
### 出品作品

「浅みどり」「新大橋之景」「秋宵」「清流」「虫の音」「あじさい」「大和路の或る家」「ふたつあちさみ」  
「襟おしろい」

下絵 「築地明石町」「紅雨荘」「のれん(夏姿)」「花火」

スケッチ 「女性像」「紅雨荘」「由比ガ浜」「虹」「江の島」「姫百合」「あじさい」「花菖蒲」

『文藝倶楽部』口絵	「白鳥」「そゞろあるき」「梅雨晴」「ひともし頃」	
『文藝倶楽部』表紙	「海風」	
『講談雑誌』口絵	「盆提灯」	
『苦楽』表紙	「高野聖」	『清方美人畫譜』 「春のいでゆ」「午後の海」
『淑女畫報』口絵	「阿蘭陀船」	『太陽』口絵 「清姿三十」
『婦人世界』口絵	「植物園の池」	
渡邊霞亭著作口絵	『新渦巻 光子の巻』	小栗風葉著作口絵 『横恋慕』『麗子夫人 前編』
菊池幽芳著作口絵	『月魄 藤乃の巻』	村井弦斎著作口絵 『日之出島 朝日之巻 下巻』
小杉天外著作口絵	『魔風戀風 中編』	山岸荷葉著作表紙 『紺暖簾』(表紙装丁校正摺)
鏑木清方著作表紙	『築地川』(裏表紙装丁)	
『少女界』口絵	「さみだれ」	『少女界』表紙 第7巻第6号
『文藝界』表紙	第3巻第4号	
口絵	「緑蔭」「A Japanese School-girl」	
清方意匠	「テーブルセンター あじさい」「白地藍ろうけつ染 紫陽花模様浴衣地」	



## 企画展 「きらめく夏 —清方と遊心庵—

江戸時代、現在の横浜金沢の海沿いは景勝地として知られ、浮世絵や本で広く人々に親しまれていた。金沢の地に憧れを持っていた清方は、大正9年(1920)、42歳のときに別荘を構え、敷地内に建つ四阿を「遊心庵」と名付けた。夏、家族や弟子、親しい人々とともに別荘で過ごした様子は、絵日記やスケッチに残され、金沢での生活を楽しみ、秋の展覧会へ向けて英気を養っていたことがうかがえる。

本展覧会では清方が見た金沢の景色を、《朝涼》をはじめ、絵日記やスケッチ、半纏など遊心庵に縁のある数々の資料で紹介した。

会期 令和2年7月4日(土)～8月25日(火)

(開館日数:45日)

総入館者数 1,217人(一日平均:27人)



### 関連事業

「夏休み親子観賞」【開催期間】7月4日(土)～8月25日(火)

### 関連記事

「ミュージアム・ナビ きらめく夏 清方と遊心庵」(神奈川新聞 7月10日)

「きらめく夏 —清方と遊心庵—」(毎日新聞 7月18日)

他 11件

### 出品作品

「朝涼」「水汲」「砂浜少女」「春の立場茶屋(金沢春景)」「夏の生活(第10～14図)」「清子四歳像」「金沢絵日記(第16～20図)」「遊心庵漫筆(第9図)」「絵日記(里から町へ)(第5図)」「絵日記(東京湾)(第3図)」「君ヶ岬漫筆(1～3図)」「ゆかた」「ゆあみ」「夕立雲」「風景(金沢・瀬戸)」「柳の下に涼む娘」「一葉女史の墓」(7/4～7/19)

下絵 「夏の女客」「川添の家」「金沢遊心庵」「筆捨松と一立齋廣重」「風鈴」「八幡鐘」(7/21～8/25)

スケッチ 「竜胆」「玉蜀黍」「花オクラ、朝顔、露草」「向日葵」「遊心庵の井戸」「蛙、茄子」「数珠玉」

『講談雑誌』口絵 「戀の湊(清方畫譜の八)」 『文藝倶楽部』口絵 「蚊遣りの煙」

『文藝界』口絵 「夕涼み」 『新小説』口絵 「空虚」

岡鬼太郎著作口絵 『春色輪やなぎ』 大沢天仙著作口絵 『善道邪道』

柳川春葉著作口絵 『母の心』

その他 遊心庵 鎌木家家紋印半纏

清方意匠浴衣地 2点

清方意匠うちわ 4点

## 企画展 「和のよそおい —清方の意匠・デザイン—」

鎗木清方は、江戸時代から明治、大正にかけての、清らかで優美、時に粋や艶までも感じさせる女性たちを描いた。着物や帯、髪型などの装いからは、清方の研ぎ澄まされた感性やこだわりをうかがうことができる。浴衣地の意匠や舞台衣装のデザインも手がけており、挿絵画家として身につけた細かな文様を描く技術、浮世絵の研究、芝居や文学への造型が、彼ならではの意匠やデザインへと結実している。

本展覧会では、作品に描かれた着物の美とともに、娘のために自ら図案を描いた婚礼衣装など、清方がデザインした着物や和装小物を紹介し、清方の和のよそおいへの美意識に迫った。

会期 令和2年8月29日(土)～10月20日(火)

(開館日数:45日)

総入館者数 1,429人(一日平均:32人)



### 関連事業

「鎗木清方誕生日記念ウィーク 絵はがきプレゼント」

【開催期間】8月29日(土)～9月6日(日)

各日先着10名様に絵はがき3枚セットを1セット贈呈

「着物で楽しむ美術館」

【開催期間】8月29日(土)～10月20日(火)

着物を来て来館された方1名につき50円(小・中学生は30円)割引

「展示解説動画」

【公開期間】10月8日(木)～20日(火)

YouTube上に《嫁ぐ人》の解説動画(5分程度)を公開

### 関連記事

「和のよそおい —清方の意匠・デザイン—」(鎌倉逍遥 vol.36)

「和のよそおい —清方の意匠・デザイン—」(湘南える vol.22)

「和のよそおい —清方の意匠・デザイン—」展(鎌倉朝日 第498号)

他10件

### 出品作品

「嫁ぐ人」「孤児院」「狐狗狸」「繪燈籠」「女役者衆八」「教誨」「ほゝづき」「夏の柳井戸(柳乃井戸)」「芸妓」

「秋草」(当館寄託)

「朝夕安居 朝」(8/29～9/22)「朝夕安居 夕」(9/24～10/20)

着物等 「清方・筆 紹地扇面描絵柄江戸褌」「清方・筆 紅梅模様描絵打掛」  
 「清方・筆 扇面描絵黒留袖」「清方・筆 描絵付け帯」「清方・筆 描絵扇子」(2点)  
 「清方図案 白木綿地浴衣地」「清方旧蔵 笥迫」(2点) (以上9点 個人蔵)  
 下絵 「明治の女」「野辺の女学生」  
 スケッチ 「女性」「照」「嫁入り」「結髪・束髪」「舞妓」「擬明治粧」  
 模写 「勝川春章《婦女風俗十二ヶ月図 七月 七夕》」

『御濠端』より	「歌妓三態」	『清方美人畫譜』より	「幕間」
『講談雑誌』口絵	「秋のおとづれ」「旅愁」	『文藝俱樂部』口絵	「あさ露」「こほろぎ」
『新小説』口絵	「八重子」	『婦人画報』口絵	「流るゝ水」
『婦人世界』口絵	「さくら色」	『新演藝』口絵	「つや物語の丁山」
『苦樂』表紙	「春雨」	扉装丁	『鏡花全集』
渡邊霞亭著作口絵	『勝関 前編』『勝関 中編』『勝関 下編』		
小栗風葉著作口絵	『戀学生』	幸田露伴著作口絵	『天うつ浪』(未刊)
柳川春葉著作口絵	『女一代』		
その他口絵	「かりがね」		
その他	『友禅雛形 一』『新撰御ひいながた 上』(以上2点清方旧蔵・復刻版)		

## 特別展

### 「三遊亭圓朝没後 120 年 あやし、うるはし —清方と圓朝—」

江戸末期から明治にかけて人情噺や怪談噺の創作落語で人気を博した名落語家の三遊亭圓朝は、清方にとり、父の友人であり、画家の道へと後押ししてくれた恩人でもあった。幼い頃から圓朝を慕っていた清方は、18歳の時に野州(現:栃木県)への取材旅行に随行。丁寧に取材をする姿から、良い創作には題材への真摯な姿勢と丹念な取材が不可欠であることを学んだ。日本画壇で活躍するようになってからも圓朝への尊敬と感謝の念を持ち続けた清方は、その思いを昭和5年(1930)《三遊亭圓朝像》(重要文化財)へと昇華させた。

圓朝の没後120年にあたる令和2年、本展覧会では、多彩な作品と資料で清方と圓朝の関わりを紹介した。

会期 令和2年10月24日(土)～11月29日(日)  
(開館日数:31日)

総入館者数 1,578人(一日平均:51人)



## 関連事業

「鎌倉小町通り・八幡宮エリア ミュージアムめぐり スタンプラリー」

【開催期間】 後期:令和元年10月12日(土)～令和2年3月21日(土)

## 関連記事

「三遊亭圓朝没後120年 あやし、うるはし —清方と圓朝—」(地域創造レター 11月号)

「ミュージアム・ナビ あやし、うるはし —清方と圓朝—」(神奈川新聞 11月13日) 他11件

## 出品作品

作品名	制作年	技法/材質・形状	サイズ	所蔵
幽霊	明治39年 (1906)	絹本着色・軸	95.0×34.0	全生庵蔵
鱒崎英朋・作 蚊帳の前の幽霊	明治39年 (1906)	絹本着色・軸	96.0×36.1	同上
月岡芳年・作 宿場女郎図	江戸～明治	絹本着色・軸	106.0×39.1	同上
豊春樓国周(豊原国周)・作 塩原多助馬別れの場	明治25年 (1892)	木版画 (三枚続)	(各) 35.1×24.0	個人蔵
尾上菊五郎 豊春樓国周・作 塩原多助一代記 横堀村山越谷道の場	明治25年 (1892)	木版画 (三枚続)	(各) 35.8×24.0	同上
梅堂小国政・作 怪談牡丹燈籠 (夢の場)	明治25年 (1892)	木版画 (三枚続)	(各) 36.0×24.0	同上

香朝樓(三代国貞)・作 怪談牡丹燈籠 (堤お峰殺しの場)	明治 25 年 (1892)	木版画 (三枚続)	(各) 36.0×24.0	同上
豊原国周・作 新富座新狂言 名人長次	明治 28 年 (1895)	木版画 (三枚続)	(各) 36.1×24.0	同上
豊原国周・作 新富座新狂言 名人長次 押上堤殺之場	明治 28 年 (1895)	木版画 (三枚続)	(各) 35.6×24.2	同上
大蕪芳年・作 井上馨邸 圓朝一門仮装の図	明治 21 年 (1888)	木版画	(各) 35.4×23.2	同上
小林幾英・作 奠都三十周年祝賀祭 御遊覧之圖	明治 32 年 (1899)	木版画 (三枚続)	(各) 35.3×23.1	同上
歌川豊斎(三代国貞)・作 歌舞伎座新狂言 人情噺文七元結	明治 35 年 (1902)	木版画 (三枚続)	(各) 35.7×23.7	同上
豊原国周・作 梅幸百種之内 塩原多助 三遊亭圓朝	明治 26 年 (1893)	木版画	36.0×25.0	同上
JAPANESE STORY-TELLERS	明治 32 年 (1899)	書籍・木版摺	24.5×18.0	同上

#### 【所蔵品】

「寒月」「道成寺」「落葉焚く」「雑司ヶ谷会式」「註文帖(第 3, 6, 12, 13 図)」「曲亭馬琴」 下絵 「三遊亭圓朝像」「寒月」「鯛」「鷺娘」「日高川 道成寺」 スケッチ(「武さし上下野旅日記 一の巻拾遺」のうち) 「御臺所」「唐沢山新道」「渡良瀬川暁の景色」「渡良瀬川暁の景色 其の二」 スケッチ 「写生たび日記 別格官幣大社 唐沢神社」「野州 旅日記 二 田沼旅舎 真柳屋客室」 「三遊亭圓朝像のためのスケッチ」「菊」
『文藝俱樂部』口絵 「夜長」「八幡鐘」
『新小説』口絵 「和歌の浦」
『演藝俱樂部』口絵 「三ッ股川の高尾」
坪内逍遙著作口絵 「お夏狂乱」(『新曲金毛狐』)
泉鏡花著作口絵 「高野聖」(『現代名作集 別巻』口絵原画(下絵))
武内桂舟口絵 三遊亭圓朝口演『錦之舞衣』
書籍 三遊亭圓朝作話・山々亭有人補綴『菊文様皿山奇談』(初編～3 編) 『圓朝全集』(表紙装丁・見返し装丁・扉)
『圓朝全集』挿絵 「真景累々淵」(月岡芳年画・第 1 卷)「指物名人長次」(水野年方画・第 9 卷) 「牛車」(鏑木清方画・第 13 卷)
その他 紺木綿地横縞網代扇地紙模様浴衣(圓朝の配り浴衣・清方旧蔵)

## 企画展 「はなやぐ春 よろこぶ春 —明治・大正・昭和の正月—」

清方が生まれた明治の初めの東京の下町には、まだ江戸の庶民文化が色濃く残っており、季節の風物や古くから伝わる風習を肌で感じながら育った。日本画家となってからは、季節の風情と人々の暮らしを題材にして、時代が移り変わる中でもかつての下町の様子や伝統的な姿をとどめる正月の風景を取材して作品に描いた。

本展覧会では、明治から昭和にかけての古きよき正月の風景を描いた作品とともに、明治の庶民生活を描いた《明治風俗十二ヶ月》をもとにした永井周山作の押絵羽子板を紹介した。

会期 令和2年12月4日(金)～  
令和3年1月11日(月・祝) (開館日数:29日)

総入館者数 880人(一日平均:30人)

### 関連事業

「新春お年玉プレゼント」

【期間】1月4日(月)～1月11日(月・祝)

「展示解説動画」

【公開期間】12月27日(木)～1月11日(月・祝)

YouTube上に《時代美人風俗雙六》の解説動画(5分程度)を公開

### 関連記事

「企画展 はなやぐ春、よろこぶ春 —明治・大正・昭和の正月—」(読売新聞 地方面 12月11日)

「はなやぐ春、よろこぶ春 明治・大正・昭和の正月」(花SaKU 12月号)

「正月描いた作品展示 鏑木清方記念美術館」(タウンニュース 11月20日号)

「企画展 はなやぐ春、よろこぶ春 —明治・大正・昭和の正月—」(鎌倉逍遙 vol.37)

他10件

### 出品作品

作品 「ためさるゝ日(右幅)」「雪空」「僧房春蘭(牡丹の寺)」「松のうち」「歳旦」「白梅」(昭和45年)

下絵 「雪旦」「雪の旦」

スケッチ 「宝船」「恵方詣」「小槌」「牛」「御殿場からの富士」

『文藝倶楽部』口絵 「餅むしろ」「春を待つ」

『文藝倶楽部』附録 「時代美人風俗雙六」「軍国をんな雙六」「新案雙六當世二筋道」

鏑木清方・鯨崎英朋合作「松の内」

『少女界』付録 宮川春汀・鏑木清方合作「歴史雙六」



『東京朝日新聞』付録	「風俗美人画(一) 松の内」
『文藝界』口絵	「都大路」
『婦人世界』口絵	『新小説』口絵
『講談雑誌』口絵	「元日の朝」
『少女界』口絵	『婦人畫報』口絵
岡鬼太郎著作口絵	「初夢」(清方畫譜の一) 「炬燵」(清方畫譜の十二)
渡邊霞亭著作口絵	「クリスマス」「爐邊の少女談話會」
菊池幽芳著作口絵	『花柳風俗 三筋の綾』
表紙絵	『渦巻』(後編)
	『小ゆき』(後編)
その他口絵	橋本埋木庵著『歌吉心中』 稲岡奴之助著『貴公子』(前編)
押絵羽子板	村上浪六著『武士道』(後編)
資料	「初雪」「年始まわり」
	永井周山作「明治風俗十二ヶ月」 吉田永光作「春の夜のうらみ」「ためさるゝ日」
	「宝珠」「清方意匠年賀状」

## 企画展 「さしえ、華やかなりし頃 —清方が受け継ぐ挿絵の美—

明治から大正のはじめ頃まで、多色摺り木版画の口絵が雑誌や書籍を華やかに彩った。若い頃の清方も、挿絵画家として華やかな口絵や情感溢れる挿絵を描き、読者や作家から好評を得て活躍した。

挿絵の仕事に取り組む中、清方は、江戸時代の浮世絵師や明治半ばに活躍した挿絵画家の研究に力を注ぐ。特に、水野年方、武内桂舟、富岡永洗、梶田半古を尊敬し、彼らが活躍した時代を「口絵でも、挿絵でも、共に華やかな時代だった」と後に随筆に記している。

本展覧会では、清方の木版画作品をはじめ同時代に描いた日本画作品と、清方が憧れた挿絵画家たちの作品も紹介した。



企画展  
さしえ、  
華やかなりし頃  
清方が受け継ぐ挿絵の美  
The Gallery Art of the Woodblock Print Illustration

令和3年  
3月13日(土)～4月11日(日)  
開催期間：令和3年3月13日(土)～4月11日(日)  
開催時間：10:00～18:00(土) 10:00～17:00(日)  
休館日：4月10日(土)  
観覧料：一般200円、小・中学生100円  
観覧料無料：65歳以上、障害者、学生、団体  
主催：鎌倉市、松村コレクション、松村コレクション実行委員会  
協賛：鎌倉市、松村コレクション、松村コレクション実行委員会  
協賛：鎌倉市、松村コレクション、松村コレクション実行委員会

13 March - 11 April, 2021  
Time: 10:00-18:00 (Sat) 10:00-17:00 (Sun)  
Admission: Adults 2000 Yen, Children 1000 Yen, Free for 65+ and disabled  
Organized by: Kamakura City, Matsumura Collection, Matsumura Collection Executive Committee  
Sponsored by: Kamakura City, Matsumura Collection, Matsumura Collection Executive Committee

鎌倉市 松本清方記念美術館  
Kamakura City Matsumura Kiyomasa Memorial Museum of Art  
〒252-0292 鎌倉市大船 1-1-1  
TEL: 046-224-8888  
http://www.kamakura-museum.com

会期 令和3年3月13日(土)～4月11日(日)

(開館日数:26日)

総入館者数 1,080人(一日平均:42人)

### 関連事業

「春休み親子観賞」【開催期間】令和3年3月26日(金)～4月4日(日)

### 関連記事

「鎌倉市 松本清方記念美術館 情感豊かな挿絵を堪能」(神奈川新聞 3月22日) 他9件

### 出品作品

「比伊奈」「舞妓」「しだれ桜」「先師の面影」「太夫」「鍾馗」「雨華庵風流」「二人静」「桜乙女」「にぎりえ(第2～4、10、12、14図)」

下絵 「霽れゆく村雨」

未定稿 「春 明治風俗」

スケッチ 「桜」(2点) 「水禽」

模写 「喜多川歌麿「當世踊子揃」の内 鷺娘／道成寺／三番叟」

『文藝倶楽部』口絵 「花吹雪」「都鳥」「爪紅」「白魚」「鸚鵡」(完了品・差上げ・校合摺・下絵)  
「白鳥」(完了品・差上げ)

『講談雑誌』口絵 「娘ざかり」「嬌音」「浮いて鷗の」

小杉天外著作口絵 『にせ紫(後編)』 小栗風葉著作口絵 『麗子夫人(前編)』

渡邊霞亭著作口絵 『渦巻(上編)』

水野年方・画口絵 村上浪六著『当世五人男のうち 倉橋幸蔵』志なさだめ』

渡邊省亭・画口絵\* 武田仰天子著『蝦夷錦』坪内逍遙著『牧の方』

武内桂舟・画口絵\* 尾崎紅葉著『三人妻(前編)』尾崎紅葉著『浮木丸』

富岡永洗・画口絵\* 尾崎紅葉著『心の闇』遅塚麗水著『月夜鴉』泉鏡花著『七本桜』

鈴木華邨・画口絵\* 「黒蜥蜴」(『文藝倶楽部』口絵)

梶田半古・画口絵\* 小栗風葉著『青春 春之巻』『青春 夏之巻』

\*松村コレクション